

STOP! 転倒災害

プロジェクト

転倒災害について



▶ **職場でこんなことありませんか？**



床が水で濡れていて滑った!!



梱包用のバンドにひっかかって転んだ!!



階段を踏み外した!!



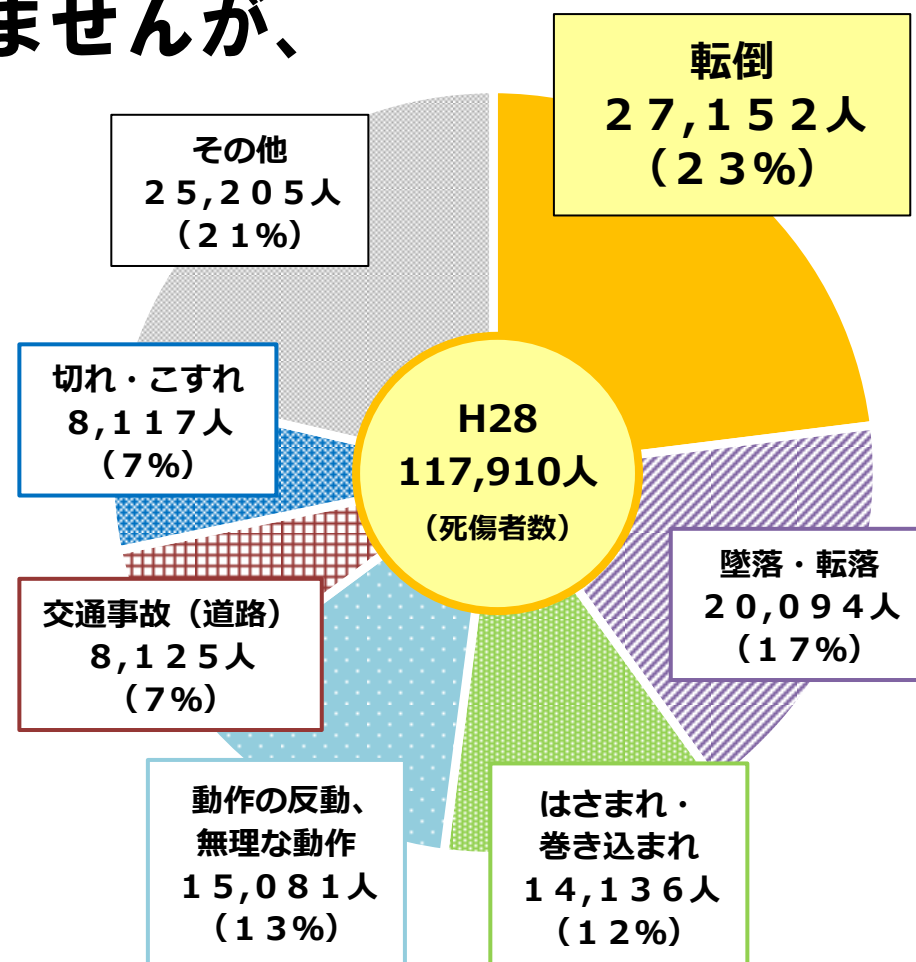
雨の日に滑って転んだ!!



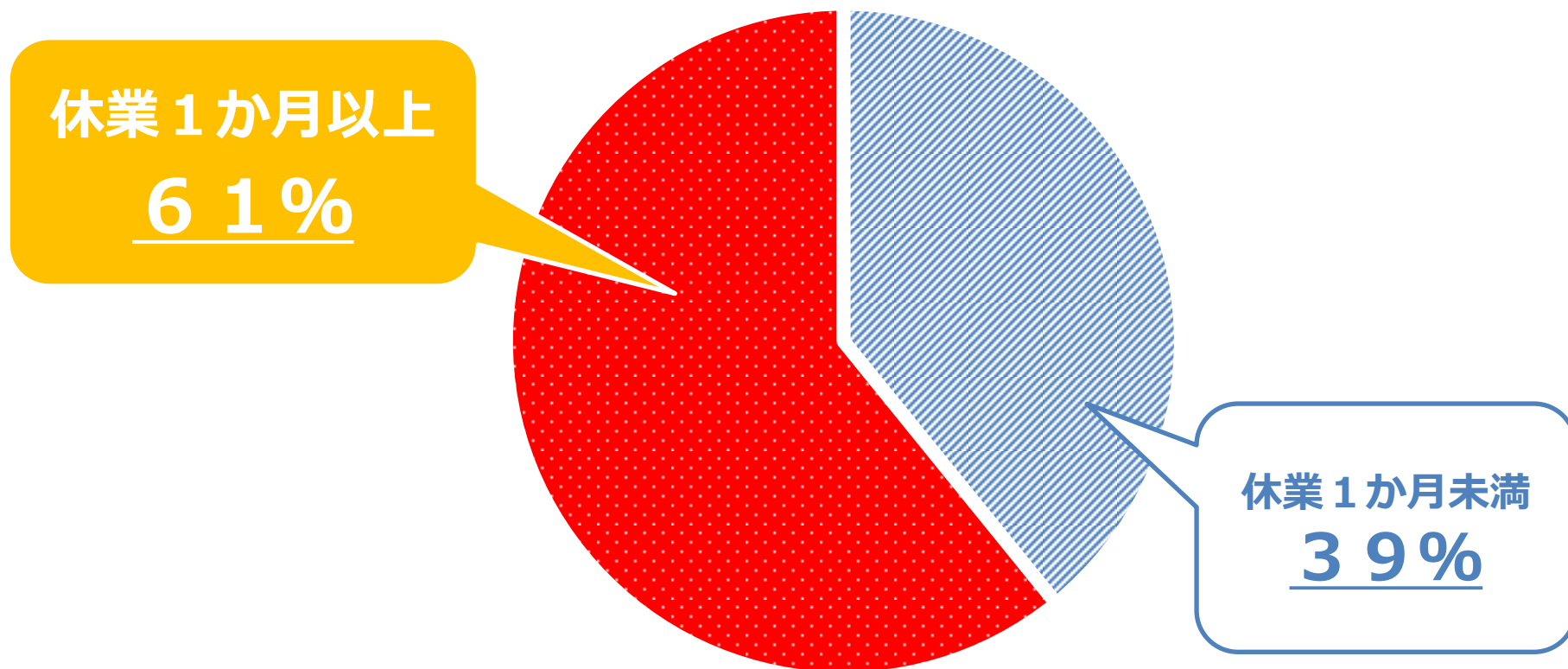
電源コードにひっかかって転んだ!!

▶ **仕事中なら、これらは全て労働災害です！**

- ▶ 転倒しただけで労働災害につながるという大げさに思われるかもしれませんが、
- ▶ 仕事中に転倒したことで4日以上仕事を休む方が年間3万人近くいます。
- ▶ 約4分の労働時間に1人の頻度で、転倒災害（休業4日以上）が発生している計算になります。
- ▶ 平成28年の労働災害による死傷者数は、こちらです→

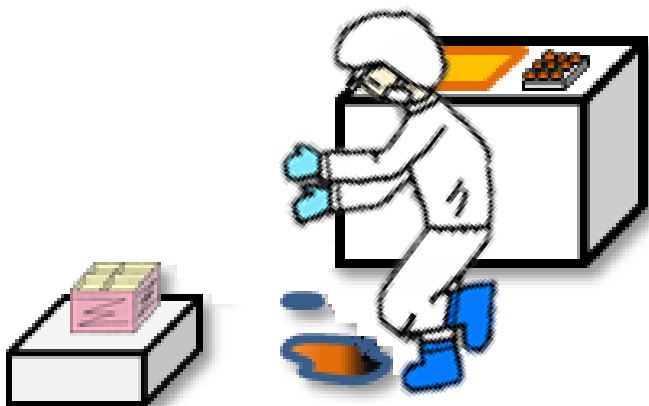


- ▶ また、休業期間が長期におよぶこともあり、
- ▶ 4日以上仕事を休まれる方の約6割の方が、1か月以上の休業となっています。



- ▶ 転倒災害には3つの典型的なパターンがあります。
- ▶ 1つめは「滑り」です。

床の素材が滑りやすいものであったり、
床に水や油などが残ったままの状態であったりすると、
滑って転倒しやすくなります。



滑り

転倒災害には3つの典型的なパターンがあります。

▶ 2つめは「つまずき」です。

床に凹凸や段差があり、つまずいて転倒したという例が多くあります。

また、放置されていた荷物や商品などにつまずいたというケースがあります。



つまずき

転倒災害には3つの典型的なパターンがあります。

▶ 3つめは「踏み外し」です。

大きな荷物を抱えて階段を下りるときなど、
足元が見えづらいときに足を踏み外し、
転倒することがあります。

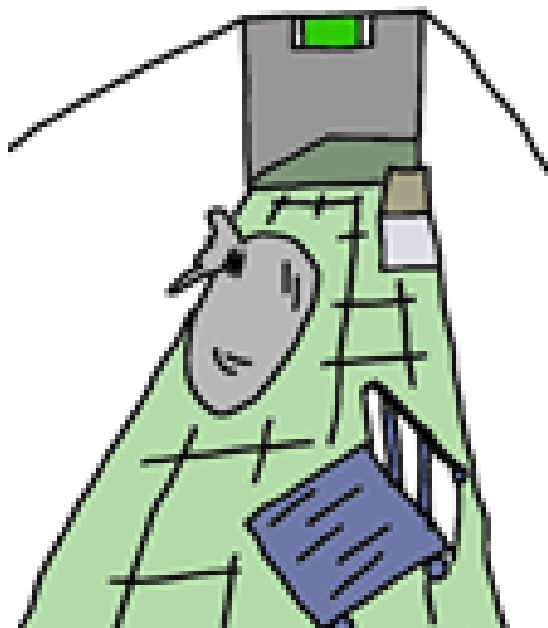


踏み外し

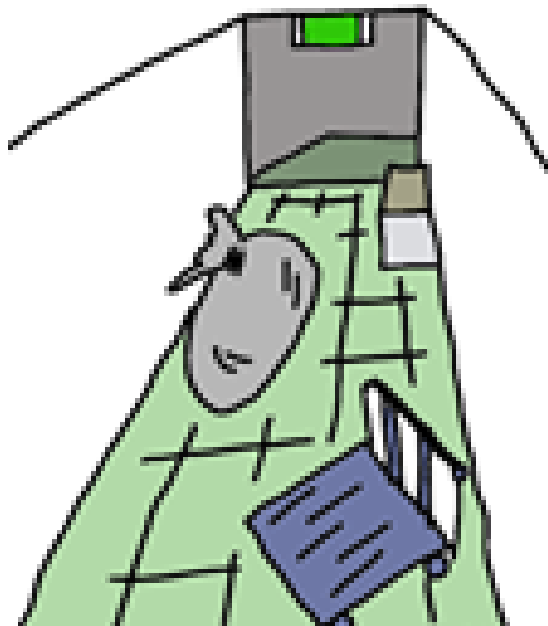
- ▶ 日頃から整理・整頓・清掃・清潔に取り組むことが、転倒災害を防ぐためには重要です。
- ▶ 4Sと覚えてください。
例えば、歩く場所に物を放置しない、
床面の汚れを取り除く、
こうしたことが転倒災害の防止につながります。



▶ 下の図で、4 Sが何に当たるかお分かりでしょうか？



下の図で、4 Sが何に当たるかお分かりでしょうか？



答え

整理：ごみを撤去

整頓：台車や荷物を収納・整列

清掃：床を隅々まで清掃

清潔：きれいな状態を実現・維持

- ▶ **転倒災害を防ぐためには、作業などを行う際、転倒しにくい方法で行うことも重要です。**
- ▶ **例えば、時間に余裕を持って行動する、滑りやすい場所では狭い歩幅でゆっくり歩く、足元が見えない状態で作業しない、といったことです。**

あせらない

急ぐ時ほど

落ち着いて

▶ **また、作業に適した靴を着用することも重要です。**

【POINT!】

- ① **靴の屈曲性**
- ② **靴の重量**
- ③ **靴の重量バランス**
- ④ **つま先部の高さ**
- ⑤ **靴底と床の耐滑性のバランス**

たいかつせい



靴底の接地面積が大きくなり安定する。 靴底の接地面積が小さく不安定。



安定した歩行ができる。 トウダウンが発生する。



ある程度のトゥスプリングの高さは必要である。

▶ さらに、靴を定期的に点検することも重要です。

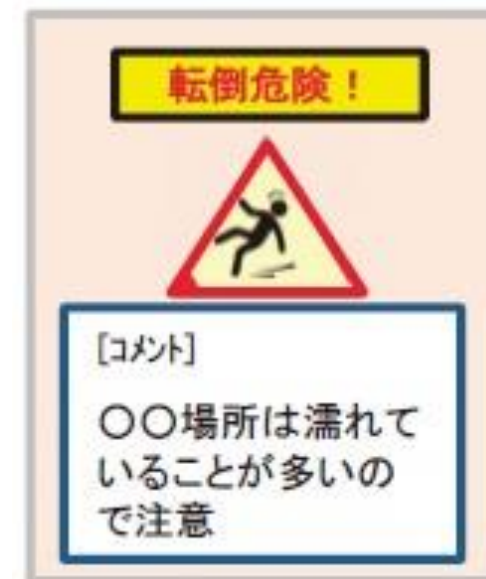
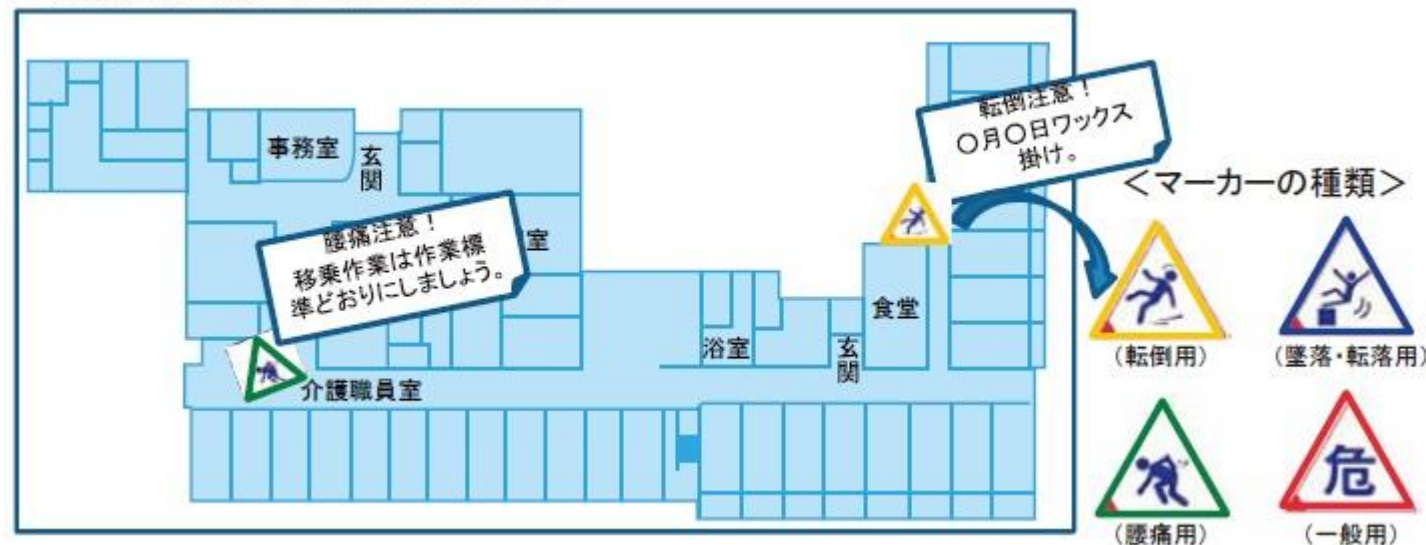
例えば、靴底がすり減ることで耐滑性は損なわれ、
滑りやすくなります。

たいかつせい



- ▶ そのほかにも、
- ▶ 職場の危険マップを作成し、危険情報を共有すること、
- ▶ 転倒の危険性がある場所にステッカーを掲示し、注意喚起することも重要です。

<危険マップ及びマーカーのイメージ>



ステッカーは↓からダウンロードすることができます。
<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/tentou1501.html>



厚生労働省では、「『見える』安全活動コンクール」を実施しています。
企業・事業場で実施されている転倒災害を防止するための安全活動の創意工夫事例（見える化事例）を募集し、公開していますので、参考にしてください。



あんぜんプロジェクトは、労働災害のない日本を目指して、働く方の安全に一生懸命に取り組み、「働く人」、「企業」、「家族」が元気になる職場を創るプロジェクトです。

[ホーム](#)[参加登録](#)[メンバー紹介](#)

労働災害防止のための安全活動の創意工夫事例をご応募ください!

平成
29
年度

『見える』安全活動コンクール



募集期間：平成29年9月1日～平成29年10月31日
投票期間：平成29年12月1日～平成30年1月31日
結果発表：平成30年3月上旬

[コンクールについて](#)[応募・投票方法](#)[応募作品](#) 準備中[結果発表](#) 準備中

[これまでの応募作品・優良事例ページへ](#)

[コンクールの趣旨・目的](#)

（独）労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所では、滑りによる転倒災害を防止するための映像教材を作成し、公開していますので、参考にしてください。



映像教材は↓から閲覧することができます。

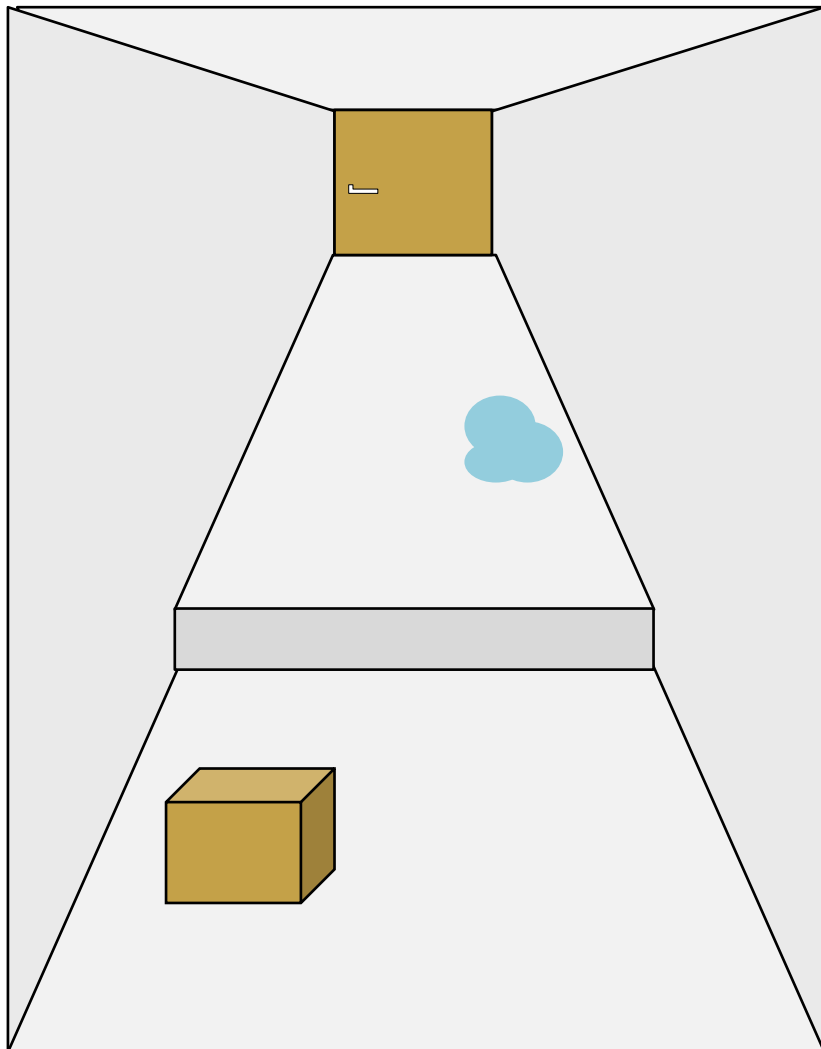
http://www.jniosh.go.jp/publication/houkoku/houkoku_2016_05.html

安衛研 転倒

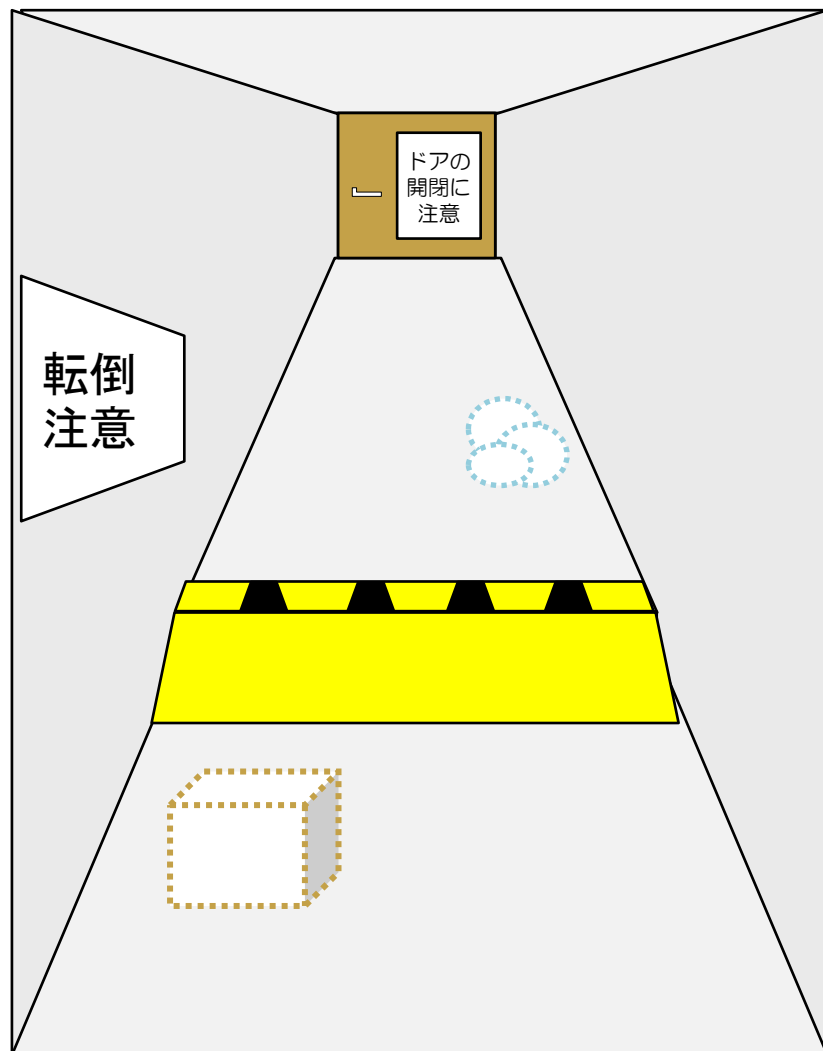
検索



▶ **どこに転倒の危険があるかお分かりでしょうか？**



どこに転倒の危険があるかお分かりでしょうか？



- 床にある荷物や水たまりを取り除く
- スロープなどで段差を解消する、または、トラテープなどで危険箇所を明示する
- ステッカーを掲示し、注意喚起する

まとめ

- 転倒災害には、「滑り」「つまずき」「踏み外し」の3つの典型的なパターンがあります。
- 転倒災害を防止するためには、
 - 4S（整理・整頓・清掃・清潔）に取り組むこと
 - 転倒しにくい方法で作業すること
 - 作業に適した靴を選び、定期的に点検すること
 - 職場の危険マップを作成し、危険情報を共有すること
 - 転倒の危険性がある場所にステッカーを掲示し、注意喚起すること

などが重要です。

▶ 職場の状況をチェックしてみましょう！

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業に適したものを選び、定期的に点検していますか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促すステッカー（標識）をつけていますか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>